ドイツと日本の休日文化の違い

余田太毅

はじめに

私は、今回のアウクスブルク市派遣で、ドイツの人々が休日をどのように過ごしているのかを調査した。
ドイツでは、日曜日に多くの店が休業する制度があり、日本とは異なる休日の過ごし方が見られる。そのような環境の中で、人々はどのような場所に集まり、どのように休日を過ごしているのかに興味を持った。
また、私のホストファミリーは、ドイツで有名なパン屋チェーンを経営する家庭であった。そのため、休日を楽しむ人々だけでなく、休日に働く人々について考える機会にもなった。
本報告書では、ドイツでの滞在を通じて見られた休日の様子を紹介し、ドイツと日本の休日の過ごし方の違いや、メリットやデメリットについて考察する。

ドイツの休日と街の様子

ドイツでの滞在中、街を歩いていて気になったのは、休日の方が平日よりも人通りが少ないように感じられたことである。
今回の滞在では、休日だからといって街中に多くの人が集まるわけではなかった。
ドイツでは、日曜日や祝日は原則として労働を休む日とされており[1]、多くの小売店が休業している。そのため、日本のように休日でも自由に買い物ができる環境とは異なる。
このような制度があるため、人々は買い物以外のことに時間を使ったり、家族や友人と過ごしたりする機会が生まれると考えられる。
ただし、休日に街の人通りが少なかった理由が、店の休業だけにあるとは限らないと考える。また、今回の滞在は 1 週間程度と短く、ドイツ全体の休日の様子を判断することは難しい。
そこで、土曜日にホストファミリーと過ごした一日の様子から、ドイツの人々が休日にどのような場所を訪れ、どのように時間を過ごしているのかについて考えた。

ホストファミリーとの 1 日

今回の派遣では「ホストファミリーとの 1 日」が設けられており、ホストマザーとさまざまな場所へ訪れた。
最初に訪れたのは、山の上にある「アンデクス」と呼ばれる教会である。そこは自然に囲まれた美しい場所で、多くの人々が集まっていた。特に年配の方が多いように見受けられた。また、多くの人々が集まっていたことから、教会は宗教的な場所であるだけでなく、人々が訪れる観光地としての役割も持っていると考えられる。

---

[1] バイエルン州店舗閉店法第 2 条
https://www.gesetze-bayern.de/Content/Document/BayLadSchlG-2?utm_source=chatgpt.com



アンデクス

その後、ホストファミリーに湖へ連れて行ってもらった。湖の近くにはカフェがあり、自然を眺めながら時間を過ごせる場所となっていた。また、湖には事故を防ぐためのレスキュー活動を行う人々もいた。休日を楽しむ人々がいる一方で、その安全を守るために活動する人々もいることが分かった。また、湖を背景に結婚式を行っている人々もおり、多くの人が自然の中で特別な時間を過ごしていた。



ヴェルト湖

また、ホストファミリーの家の近くにある河川敷付近のバスケットボールコートにも訪れた。最初は日本の公園などでも見られるような光景であったが、時間が経つにつれて徐々に人が増えていった。

そこでは若い人たちだけでなく、40 代くらいの男性や親子で訪れる人々もおり、年齢の異なる人々が一緒に試合を楽しんでいた。



バスケットコート

このように、ホストファミリーと過ごした一日では、宗教施設を訪れたり、自然の中で過ごしたり、スポーツを通じて交流したりと、さまざまな休日の過ごし方を見ることができた。

日本との比較

ドイツと日本の休日の過ごし方を比較して、特に違いが見られるのは、休日の店の営業と、人々の生活環境である。
日本では、日曜日でもスーパーや飲食店などが営業していることが多く、休日に買い物や外食を楽しむことができる。一方、ドイツでは日曜日に多くの店が休業するため、買い物をする場合には事前に予定を立てる、もしくは平日に買いに行く必要がある。
このような制度の違いによって、休日に利用できる店や施設にも違いが生まれる。
例えば、日本では休日にショッピングモー

ルなどへ出かけることも一般的ではある一方、ドイツでは日曜日に多くの店が閉まっているため、買い物以外の活動を選ぶ機会もあると考えられる。
ただし、日本でも自宅で休息したり、自然のある場所へ出かけたり、スポーツを楽しんだりする人は多くいる。
実際に、今回訪れたバスケットボールコートでの過ごし方は、日本で見られる光景と共通する部分もあった。
このことから、ドイツと日本では休日の制度や環境に違いがあるが、人々が休日に求めるものは共通する部分もあると考えられる。

ドイツ休日制度のメリットデメリット

まず、ドイツの休日制度のメリットは、多くの人が共通して休める時間を確保しやすいことである。
日曜日に多くの店が休業することで、働く人々が休息する時間を確保しやすくなり、家族や友人と予定を合わせることにもつながる。
また、仕事や買い物から離れることで、趣味やスポーツ、自然の中で過ごす時間など、自分の生活を大切にする機会が生まれると考えられる。
一方で、デメリットも存在する。
例えば、日曜日に買い物をしたくても店が閉まっていることが多くあり、消費者にとっては不便に感じることがある。また、平日に仕事や学校がある人にとっては、買い物ができる時間が限られてしまうことも考えられる。
さらに、パン屋や飲食店など、休日にも営業する店や施設で働く人々は、周囲と同じ日に休みを取ることが難しい場合もある。
このように、休日を大切にする制度にはメリットがある一方で、人々の生活に不便さを生む可能性もある。
そのため、どちらの制度が優れていると一概に判断するのではなく、それぞれの良い点と課題を理解することが重要である。

まとめ

今回のアウクスブルク市派遣での滞在を通じて、ドイツの休日の過ごし方について調査することができた。
滞在中、休日の街中は平日よりも人通りが少ないように感じられたが、ホストファミリーと過ごした一日では、教会や湖、バスケットボールコートなど、さまざまな場所で休日を過ごす人々の姿を見ることができた。
このことから、休日には自宅でゆっくりと休む人もいれば、外出やスポーツ、家族や友人との交流を楽しむ人もいるなど、過ごし方は人によって異なると考えられる。
加えて、今回の滞在では、休日の街中は比較的静かに感じられた一方で、教会や湖、バスケットボールコートなどには人々が集まっていた。このことから、休日には買い物以外の目的で外出する人々もいることが分かった。また、そのような休日を支えるために、休日にも働いたり活動したりする人々がいることも分かった。
今回の調査では、休日の過ごし方は人によ

って異なり、それを支えるために働く人々も存在することが分かった。今後は、休日を楽しむ人々だけでなく、休日に働く人々の過ごし方についても、さらに理解を深めていきたい。

参考文献

・ドイツ連邦司法省・連邦司法庁「労働時間法（Arbeitszeitgesetz）第 9 条・第 10 条
https://www.gesetze-im-internet.de/arbzg/

・バイエルン州政府「バイエルン州店舗閉店法（Bayerisches Ladenschlussgesetz）第 2 条・第 3 条」
https://www.gesetze-bayern.de/Content/Document/BayLadSchlG

・厚生労働省「労働時間・休日」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/roudouzikan/index.html

（最終閲覧日：2026 年 10 月 13 日）